

医療安全全国フォーラム・行動目標1分科会 プログラム

日時： 2009年5月30日(土) 9:30~12:00
場所： 日本教育会館(東京)
テーマ： 危険薬の誤投与防止

アドバイザー： 我妻恭行※(東北大学病院副医療安全推進室長)、跡部治(諏訪赤十字病院薬剤部長)、齋藤泰紀(仙台医療センター統括診療部長)、菅野隆彦(小清水赤十字病院内科副部長)、高橋英夫※(名古屋大学大学院救急・集中治療学準教授)、新岡丈典(弘前大学医学部附属病院医療安全推進室)、矢野真(武蔵野赤十字病院呼吸器外科部長)、脇田久(成田赤十字病院副病院長)

※：オーガナイザー兼

【一般演題】 ベストプラクティス(BP)への取り組み(1)

- 1 BP1 危険薬の啓発と危険薬リストの作成・周知、BP6 注射指示の標準化
西村 康人 (仙台医療センター薬剤科)
- 2 BP2 高濃度カリウム塩注、高張食塩注の病棟保管の廃止、BP10 投薬に関する患者取り違え防止策の徹底、BP11 輸液ポンプ、シリンジポンプの操作等の標準化と教育
脇田 久 (成田赤十字病院検査部)
- 3 BP3 採用薬品の見直し、BP12 入院時持込薬の安全管理
中村 直人 (公立陶生病院薬剤部)
- 4 BP4 類似薬の警告と区分保管、BP12 入院時持込薬の安全管理
浜田 吉昭 (武蔵野赤十字病院薬剤部)
- 5 BP4 類似薬の警告と区分保管、BP9 払出しと与薬のユニットドース化、BP14 経口用液剤の計量シリンジの使用法の標準化と周知
篠原裕子 (佐久総合病院医療安全管理室)

【ミニレクチャー】 改善活動の進め方

- 6 医薬品に関する安全管理の進め方
江原 一雅 (神戸大学医学部附属病院医療の質・安全管理部)
- 7 改善活動の進め方 — QC手法を用いP D C Aサイクルをまわす —
井上 恵実 (医療法人宝生会P L病院医療安全管理室)

【一般演題】 ベストプラクティス(BP)への取り組み(2)

- 8 BP5 救急カートの整備、BP6 注射指示の標準化、BP7 インスリンスライディングスケールの標準化、BP13 アレルギーおよび禁忌情報の明示と確認方法の標準化
新岡 丈典 (弘前大学医学部附属病院医療安全推進室)
- 9 BP8 散剤および水剤のコンピューテッド調剤監査システムの導入、BP15 抗がん剤の治療プロトコルの院内登録制度、BP16 薬剤部での注射ミキシング
久道 周彦 (東北大学病院薬剤部)